

事業群評価調査(令和5年度実施)

基本戦略名	1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る	事業群主管所属・課(室)長名	文化観光国際部 スポーツ振興課	江口 信
施策名	8 いつまでも健康で生涯を通じて学び、活躍できる社会の実現	事業群関係課(室)		
事業群名	⑥ スポーツに親しめる環境づくりによる地域スポーツの活性化	令和4年度事業費(千円)	※下記「2. 令和4年度取組実績」の事業費(R4実績)の合計額	11,661

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)						(取組項目)				
スポーツを通じた県民の健康増進とまちの活力を創出するため、関係機関等と積極的に連携しながら、いつでも、どこでも、だれでも、気軽に楽しくスポーツに親しめる環境づくりを進め、生涯スポーツの推進に取り組めます。						i) 総合型地域スポーツクラブの育成支援 ii) 関係団体との連携によるスポーツイベントの開催、スポーツ・レクリエーション活動の普及・定着化 iii) 健康長寿対策事業と連携した総合型地域スポーツクラブの活用 iv) スポーツに親しめる環境を作り・支え・継続していくための人材育成支援				
事業群	成人の週1回以上のスポーツ実施率	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
		目標値①		47.2%	48.9%	50.6%	52.3%	54.0%	54.0% (R7)	
		実績値②	45.5% (R2)	48.3%	46.8%				進捗状況	
		達成率②/①		102%	95%					やや遅れ
										令和3年度から1.5ポイント減少したものの、基準年である令和2年度からは1.3ポイント増加した。年代別では、増加したのは70代のみであった。特に70代女性は78.9%と令和3年度から15.5ポイント増加し、非常に高い数値となった一方で、20代女性30.9%、30代女性34.7%、40代女性30.1%といずれも35%未満であった。 週に1回以上スポーツを実施できなかった理由としては、令和3年度と同様に面倒くさいから(17.9%)、仕事や家事が忙しいから(15.0%)が多くなっている。20代~40代については、仕事や家事が忙しいからが一番多い理由となっている。 今後も引き続き、住民の日常的なスポーツ活動の場となる総合型地域スポーツクラブの拡大充実や長崎県民総スポーツ祭等のスポーツ活動の機会の充実に取り組むとともに、子育て世代・働き盛り世代に対する取組が必要である。

2. 令和4年度取組実績(令和5年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和4年度事業の成果等	
				R3実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R3目標	R3実績		達成率
				R4実績					R4目標	R4実績		
				R5計画	R5目標							
事業実施の根拠法令等				事業対象								
事業期間		法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)								
所管課(室)名												
取組項目 i ii iii iv	○	1	地域スポーツ活性化推進事業費	11,554	11,554	10,906	総合型地域スポーツクラブについて、令和4年度から登録・認証制度の運用が開始されたため、クラブや市町に対し、情報提供や申請手続きのサポート、また登録促進及びクラブの質的充実のための財政支援を県スポーツ協会と連携して行った。また、市町担当者に対し、クラブへの認識を深めるための研修会を開催した。 新型コロナウイルス感染症の影響が残り、ながさき県民総スポーツ祭の実施種目数、参加人数ともに目標値に届かなかったが、前年度からは大きく回復した。	【活動指標】	65	44	67%	●事業の成果 ・総合型地域スポーツクラブに対し、登録・認証制度の登録に向けた働きかけを県スポーツ協会と連携して行った結果、県内32クラブのうち24クラブが登録を行った。 ・多くの県民が参加できる総合的なスポーツ大会として、「ながさき県民総スポーツ祭」の開催など各種事業の実施により生涯スポーツの振興に寄与した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・成人の週1回以上のスポーツ実施率向上のため、総合型地域スポーツクラブの質的充実に向けた支援や認知度向上に努めた。 ・「ながさき県民総スポーツ祭」の実施により、練習や予選を含め県民が日常的にスポーツを行う機会を提供した。
				11,661	11,661	11,480			65	56	86%	
				12,394	12,394	13,889			65			
			H18-	スポーツ基本法第4,10,22,31,34,35条					【成果指標】	12,000	6,683	
		スポーツ振興課	○	—	—	市町、県民	ながさき県民総スポーツ祭参加者数(人)	12,000	8,882	74%		

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 総合型地域スポーツクラブの育成支援</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 総合型地域スポーツクラブについては、令和4年度から登録・認証制度の運用が開始され、県スポーツ協会内に中間支援組織が整備されるとともに、長崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の事務局も県スポーツ協会内に移った。県スポーツ協会と連携し、24クラブが予備登録クラブとなったものの、うち1クラブは代表者の後任が見つからず、令和4年度末をもって解散となった。他にも後継者の課題を抱えているクラブやコロナで会員数が減少したままのクラブがあるため、今後も県スポーツ協会や市町と連携しフォローを行うなどの取組が必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 今後も県スポーツ協会や市町と連携し、各クラブの課題の把握及び解決に向けた取組、令和6年度から開始予定の認証制度に向けた取組、クラブの認知度向上、クラブや市町に対する情報提供等に取り組んでいく。</p>
<p>ii 関係団体との連携によるスポーツイベントの開催、スポーツ・レクリエーション活動の普及・定着化</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 毎年11月を「県民スポーツ月間」と位置づけ、そのメインイベントとして「ながさき県民総スポーツ祭」を11月中旬に開催している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残り、ながさき県民総スポーツ祭の実施種目数、参加人数ともに目標値に届いていないが、前年度からは大きく回復した。 ながさき県民総スポーツ祭においては、総合開会式を実施しているが、参加者の機運向上や県民へのPR等には必ずしも繋がっているとは言えないため見直しが必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 県民スポーツ月間やながさき県民総スポーツ祭のPRを強化することで、スポーツ実施率が低い子育て世代が親子や家族で参加できるような体験イベントへ誘導するなど、県民がスポーツに取り組む意識の向上を図る。 総合開会式については廃止も視野に入れながら、実行委員会(式典部会)において鋭意検討を進めて行く。</p>
<p>iii 健康長寿対策事業と連携した総合型地域スポーツクラブの活用</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 「健康長寿日本一の長崎県づくり推進事業」において、令和3年度に引き続き、「地域で活動するスポーツ指導者育成講座」を長崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に委託して実施した。健康づくりや介護予防に特化したスポーツ指導者を育成するための講座で、基礎編を7名、応用編を35名が受講し、受講後に地域公民館での介護予防教室を開設するなどの成果につながった。 しかし、まだ高齢者が参加できる種目が無い総合型クラブもあるため、「いつまでもスポーツを楽しめる環境づくり」を引き続き支援していく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 高齢者も参加できる種目の新設や、市町行政と連携した介護予防教室の開設等に向け、総合型クラブや市町に対し、先進優良事例の紹介等を行っていく。</p>
<p>iv スポーツに親しめる環境を作り・支え・継続していくための人材育成支援</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 生涯スポーツの振興及びスポーツによるまちづくりを目指し、雲仙市で長崎県スポーツ推進委員研究大会を開催した。県内のスポーツ推進委員及び市町生涯スポーツ担当者169名が参加し、事例発表、実技研修、地域におけるスポーツ振興の方策の研究等を行った。 令和5年度には九州各県のスポーツ推進委員及び生涯スポーツ担当者約2,000名が参加する九州地区スポーツ推進委員研究大会を本県で開催するため、意義深い大会となるよう準備を進めていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 県スポーツ推進委員協議会理事を中心として、大会開催地である島原市教育委員会及び島原市スポーツ推進委員協議会役員を含めた実行委員会を設立し、各市町スポーツ推進委員協議会に協力を仰ぎながら、大会テーマの決定、会場設営、宿泊場所の確保等各種準備を進めていく。</p>

### 4. 令和5年度見直し内容及び令和6年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和5年度事業の実施にあたり見直した内容		令和6年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	※令和5年度の新たな取組は「R5新規」等と、見直しがない場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			事業期間 所管課(室)名				
取組項目 i ii iii iv	○	1	地域スポーツ活性化推進事業費  H18-  スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブについては、令和4年度から登録・認証制度の運用が開始され、県スポーツ協会内に中間支援組織が整備されるとともに、長崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の事務局も県スポーツ協会内に移るなど、これまでより県スポーツ協会のクラブへの関与が強まった。これまで県で発行していた広報誌を令和5年度から県スポーツ協会が発行するなど、それぞれの役割を整理するとともに、クラブの質的充実に向け、クラブと市町担当者の意見交換の時間を設けるなど、県スポーツ協会と連携して研修会の内容を見直した。	③	ながさき県民総スポーツ祭の総合開会式について、競技者への負担が大きい、新しい生活様式にそぐわない等といった課題があることから、今後の在り方を検討しつつ、ながさき県民総スポーツ祭や県民スポーツ月間(11月)の認知度向上に向けたさらなるPRの強化に取り組む。	改善

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点